



◀蔵をイメージして建て替えられた倉庫

▼門前町らしさを演出する照明の灯り



治 線の町並み整備を図るため、工事に伴って建て替えをする方に、市では外観アドバースや助成を行なっています。本町で古くから店を構えている鈴木志津子さんも制度を活用し、建て替えを行ないました。「市の景観条例に基づいて統一感ある町並みにしたい」と思い、門前町らしさを意識して建て替えました。歩道の整備が進み、最近ではパンフレットを手にした観光客を多く見かけます。北浜沢乙線には神社までの道をゆつくり散策してもらえようになつて欲しいと思います」と話してくれました。



『おさん茶屋』を営む
鈴木 志津子 さん



◀三井さんは現在73歳。清掃は日の出とともに毎日続けています

親 しまれる道路にしたい。そのよう強い思いから北浜沢乙線の西町の清掃を続けている三井孝さん。毎朝、欠かさず清掃を続けて50年以上になります。「私の先祖は江戸時代から現在の地（西町）に店を構えていました。当時は鹽竈神社を訪れた諸大名の休憩所となつていたそうです。老朽化や道路の拡幅工事などもあり建物は取り壊してしまいましたが、周辺の清掃は習慣として続けています。この道は神社表坂、利府、仙台の分岐点となつていて昔から多くの人でにぎわっていました。清掃を続けることで歴史ある町並みをいつまでもきれいに保つていきたいと思っています」と三井さん。北浜沢乙線の歴史などについて思いを語ってくれました。



西町の清掃を行なっている
三井 孝 さん



『鹽竈海道まちづくり研究会』
会長 丹野 六右衛門 さん

◀「まちの資源を生かしたまちづくりを目指しています」と丹野さん

ま ちづくりに関心の高い沿線住民が集まり、沿線のあるべき姿を市や県へ提案、進言するため、平成17年に『鹽竈海道まちづくり研究会』を設立しました。
会では地域主導により門前町にふさわしいまちづくりを進めるため、町並みや景観、住民参加のあり方など、現在まで43回にもおよび会議を開き、議論を重ねてきました。
会長をつとめる丹野六右衛門さんは「現在、40人いる会員と活動しています。住民が暮らしやすく、訪れた方も心地良い道路をつくろうと会員からたくさんの方の意見を出してもらい、市や県に対し提案を行なっています。また、まちづくりの先進地である福島県の七日町や岩手県の平泉町を訪れてまちづくりに生かせないかと会員と話し合いを行なっています。北浜沢乙線には鹽竈の古い歴史や伝統が感じられる町並み、また住民や観光客がほつとできるような空間となつて欲しいと思います」と話してくれました。



◀研究会ではお祭りの日に道沿いに野点傘の休憩所を設置。まちに彩りを演出しました

●『鹽竈海道まちづくり研究会』のホームページは
<http://www.sioikai.com/pc.html>
●日本風景街道のホームページは
<http://www.hido.or.jp/fukeikaidou/index.html>

「鹽竈海道」が日本風景街道に登録されました

『鹽竈海道まちづくり研究会』の活動が認められ、昨年、北浜沢乙線が『鹽竈海道』として日本風景街道に登録されました。

日本風景街道とは国土交通省が展開しているプロジェクトで自然、歴史、文化、風景などをテーマにして、美しい地域と道空間づくりを行い、地域活性化や観光振興に生かそうというものです。

宮城県では白石市と七ヶ宿町の『みちのくおとぎ街道』と鹽竈の『鹽竈海道』の2つが選ばれました。登録されるとまちづくりに関する活動への支援のほか、国土交通省のホームページに紹介されます。

お問い合わせは

●北浜沢乙線道路工事について

宮城県仙台台東土木事務所

☎364-7119

●景観助成制度、市道整備、鹽竈海道まちづくり研究会について

塩竈市建設部土木課建設係

☎364-1118